

## 平成 28 年度 第 5 回 介護・医療連携推進会議 記録

### ● 事業所情報

法人名	株式会社エイプレイス
事業所	エイプレイス麻生

### ● 開催日時・場所

日時	平成 28 年 4 月 27 日 (水) 14:00~15:45
場所	福祉パルあさお 会議室

### ● 参加者 (順不同)

NO	所属 (役職)	氏名
1	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会あさお訪問介護支援事業所	A 様
2	柿生アルナ園	B 様
3	セントケアあさお	C 様
4	居宅介護支援センター虹の里	D 様
5	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブグループとも	E 様
6	総合福祉ツクイ川崎麻生	F 様
7	総合福祉ツクイ川崎麻生	G 様
8	ほっとハンド訪問介護支援センター	H 様
9	ケアセンター介護福祉会	I 様
10		
11	エイプレイス麻生 (管理者)	靱山 輝行
12	エイプレイス麻生 (計画作成責任者)	中山 あんり
13	エイプレイス麻生 (計画作成責任者)	南場 晶子
14	エイプレイス麻生 (看護師)	小林 瑞紀

### ● 議事

NO	議事内容
1	サービス提供状況について
2	連携状況の報告
3	その他 (質疑応答等)

● 記録

議事 1	サービス提供状況について
中山	<別紙配布資料にて報告>
議事 2	事例検討について
	<別紙配布資料にて報告>
議事 3	その他（質疑応答等）
ご参加者	以前ご利用者様宅へ伺ったときに、ケアに入っていたヘルパーさんに声を掛けたら「私はエイプレイスではなく〇〇事業所です。」と言われ混乱してしまいました。いつから変わったのかと思ってしまった。委託先のヘルパーさんにご家族様も混乱するのではないかとケアマネとしては安心して利用したいのだが。
靱山	きちんと伝達できていないところがありました。申し訳ございませんでした。CM様、ご家族様へのご説明が不十分であったと認識しております。今後きちんとご説明させていただくよう徹底して参ります。そのような場合、「エイプレイスと連携している〇〇事業所です」と返答していただくなど、連携先の事業所さんと相談させていただきます。今後の課題としていきたいと思っております。 また、あくまで連携先の事業所さんに差支えなければ、弊社のユニホームをお貸しして、ご利用者様には馴染みのヘルパーさんとしてご認識いただけるかもしれません。基本的には、地域包括ケアの一環として法人の垣根を越えて、定期巡回チームメイトとして定期巡回に携わってもらえれば理想的だと思っています。
ご参加者	指定訪問で今入っている事業所がすべて入れるのか？
靱山	エイプレイスと連携契約をしていただく必要があります。川崎市で昨年からはスタートしている制度でございます、川崎市が定めた指針に基づいて運用させていただいております。エイプレイスと連携していただいている訪問介護事業所に限られます。
ご参加者	連携先で元々行く予定だったヘルパーさんが行けなくなった時はどうするのか？
靱山	基本的には連携先の事業所にフォローもお願いさせていただいております。やむを得ない場合には、エイプレイスでフォローさせていただきます。ケースバイケースで、互いに相談しながら、対応させていただいております。
ご参加者	連携先の事業所の選択はどうしているのか？
靱山	基本的には全ての事業所様と連携したいと思っています。定期巡回のネットワークが広がれば、より多くの地域の方々に定期巡回サービスが届けられると考えております。現在は7事業所と連携させて頂いております。随時、お声掛けさせていただき、輪を広げていきたいと考えております。
ご参加者	随時コールはエイプレイスさんが来てくれるのですか？
靱山	基本的にはエイプレイスで対応させていただきますが、あくまで強制ではなく、状況に応じて、可能であれば、連携先の事業者さんにお問い合わせいただく事もあります。
ご参加者	連携先のヘルパーさんと話し合うための集まりはあるのですか？
南場	担当者会議で集まって情報の共有する事はありますが、連携先のヘルパーさんと集まって

	話合う等は現状出来ておりません。必要性は感じております。
ご参加者	元々ケアに入っていた事業所が連携して入る時、エイプレイスとして入っている認識が薄いと感じる。
中山	現状、同行させていただくこともございますが、現場レベルでは、エイプレイスとしてとか、〇〇事業所としてとかの認識でケアを行うというよりも、まずは担当のケアを適切に対応していただくということが主な段階で、点から線を意識しての対応とまでは至っていないと感じております。
靱山	エイプレイスとしてというよりも、エイプレイスと協力して、定期巡回を提供している〇〇事業所というご認識のもと、協力しながら一人の利用者様に定期巡回を届けているというようにご認識いただければ良いのではと感じております。
ご参加者	定期巡回を利用すると今までの訪問介護を続けられない事もあり、定期巡回を利用するのを渋っていました。同じ訪問介護事業所で入ってもらえるとご利用者さんも安心できます。
靱山	今までサービス提供をされていた事業所さんが連携をして下されば、利用者様はサービスを定期巡回に変更しても、馴染みのヘルパーさんとの関係も継続しつつ、定期巡回サービスをご利用いただけます。連携して下さる事業所さんを増やして、より多くの方が定期巡回をご利用できる地域にしていきたいと思っています。
ご参加者	訪看さんをこちらで指定して、定期巡回を入れる事はできますか？
靱山	それは現行では出来ません。エイプレイスと連携して下さっている訪看さんに限られます。
ご参加者	体調不良の時手厚く入ってもらえますか？
靱山	随時、利用者様の状況に合わせてケア内容やケア時間、訪問回数も変更します。随時、可能な限り対応していきます。
ご参加者	委託先として新規で依頼があるとうちの仕事としてとらえていた。チームとしての感覚は無かったと思います。今までうちからは3人のヘルパーが関わっていたのですが、さらに3人増やし6人でやっていく事になりました。定期巡回のチームとして認識できるようにしていきたい。
ご参加者	連携はしたけどやっぱり抜きたいと言った事業者は無いですか？
靱山	現状はいらっしゃいません。
ご参加者	連携事業者が辞めないというのは利益だけではなく得るものがあるのではないかと思うし、それがもっと広く他の事業者に伝わればいいですね。 ただ残念なのはスマケアを見ていて連携先のヘルパーさんが特記に何も書き込んでいないなどあると指導ができていないのではと思います。
中山	私たちのサポートが足りていないと自覚しております。申し訳ございません。「スマケア？なにこれ？」から始まって、現状、少しずつ対応していただけるようになってきました。2年目に入り今回課題も頂きましたので入力できるよう声を掛けていきたいと思っています。
靱山	私達も自分たちのケアに追われてサポートになかなか力を入れられなかったので2年目はその課題も考えてサポートしていきたいと思っています。
ご参加者	この間初めてこのサービスを利用しました。やっぱり利用してみないと分からないと思

	ました。良いサービスだなあと思いました。今後は定期巡回がメインになっていくんでしょうね。負担が少なく利用でき、その人にとって何が本当に必要か深く考えて、ほんの5分、10分でも生きていくために必要なサービスだと思います。
ご参加者	不必要な事をそぎ落して必要な事だけを残していくという、密度の濃いケアができると思います。独居の方、認知の方に服薬をするなどのケアはとても有効と感じます。
ご参加者	居宅としては自分の訪問事業所を使っていかなければいけないと思もあるが、、
ご参加者	連携先も見合わない金額で受ける事になるので考えるのではないか。
靱山	金額に関しましては、川崎市の指針に基づいて運用させていただいておりますので、現行通りとなります。全国的なデーターを基に、割り出されたと伺っております。
ご参加者	短いケアなので、こだわりが強い人でも受け入れ易いケアだと思います。 こういうサービスが浸透していかないとサービスを受けられない人が増えていく。 エイプレイスさんは問題があつて投げかけると一緒に考えてくれる、何とかやってみようとしてくれる。悩んでいるときはまず相談してみるといいと思います。

作成者	中山 小林 靱山
-----	----------

以上